

「広島西飛行場跡地利用計画（素案）」の県民・市民意見募集の結果について

1 募集期間

平成 29 年 2 月 10 日（金）から平成 29 年 3 月 1 日（水）まで

2 募集方法

- (1) 広島県ホームページ及び広島市ホームページへ募集記事を掲載
- (2) 広島市広報紙「ひろしま市民と市政」へ募集記事を掲載
- (3) 広島県地域政策局都市圏魅力づくり推進課，広島県行政情報コーナー，広島県各総務事務所（支所）総務課，広島市都市整備局都市機能調整部都市機能調整担当，広島市公文書館，広島市各区役所区政調整課及び観音・南観音公民館に閲覧用資料を設置
- (4) 広島県県政記者クラブ及び広島市市政記者クラブへ情報提供

3 募集結果

- (1) 応募数 24 人（県受付分：8 人，市受付分：16 人）
（応募方法：ホームページ12 人，電子メール7 人，ファックス5 人）
- (2) 意見件数 38 件
- (3) 意見の内訳

内 容	件数
ア 土地利用に関すること	28 件
イ 都市基盤整備に関すること	7 件
ウ 事業手法に関すること	1 件
エ 今後のスケジュールに関すること	2 件
計	38 件

4 意見への対応

区 分	件数
(1) 意見の趣旨により計画（素案）を修正するもの	1 件
(2) 意見の趣旨が既に計画（素案）に盛り込まれているなど，計画の修正を行わないもの又は今後の取組に当たって参考とするもの	37 件

5 意見の概要と意見に対する考え方

(1) 意見の趣旨により計画（素案）を修正するもの

ウ 事業手法に関すること（1件）

意見の概要	考え方
<p>① 「新たな産業（にぎわい）」ゾーンは土地を貸すことを前提にしているが、提案の幅を広げ、跡地活用を早く進めるために土地を売ることも選択肢の中に加えるべきである。</p>	<p>「新たな産業（にぎわい）」ゾーンの事業手法については、素案の取りまとめに当たり、対話事業者からの提案や意見を参考とし、賃貸借としましたが、素案の取りまとめ後も、対話事業者との対話を継続した結果、ゾーン全体を購入する可能性もあることが確認できました。</p> <p>今後、予定している事業予定者の募集に当たっては、民間事業者からより多くの提案をいただくことができるという観点から、「新たな産業（にぎわい）」ゾーンの事業手法について、一括して購入する提案も可能となるよう、「民間が土地を一括して購入又は一括して賃貸借（定期借地）し、民間が整備する。」に修正しました。</p>

(2) 意見の趣旨が既に方針（素案）に盛り込まれているなど、方針の修正を行わないもの又は今後の取組に当たって参考とするもの

ア 土地利用に関すること（28件）

意見の概要	考え方
<p>① 既存の公園では球技ができない。子供たちのことや利便性を考えれば「スポーツ・レクリエーション」ゾーンは北側に配置してほしい。</p>	<p>「スポーツ・レクリエーション」ゾーンについては、観音マリーナ、マリーナホップ等の既存施設や「新たな産業（にぎわい）」ゾーンとの連携により、一体的なにぎわいづくりを目指すことに重点を置いて配置しています。</p> <p>なお、北側からのアクセス向上については、車道の拡幅や自転車走行空間の整備により対応することとしています。</p>
<p>② スポーツ・レクリエーションゾーンは必要ない。市内を一望できる観覧車などを整備するのがよい。経済を重視した観点で整備してほしい。</p>	<p>「スポーツ・レクリエーション」ゾーンについては、市内にソフトボールや少年野球等の屋外球技の試合が同時に開催できる県大会レベルの施設が不足していること、施設整備について競技団体から強い要望があることなどを踏まえて、広島県総合グランドにはない多目的スポーツ広場（ソフトボール場4面等）を整備することとしています。</p>
<p>③ 総合グランドの移転先として、西飛行場跡地にすべての競技施設を集結し、総合グランド跡地を雇用ゾーンとして活用してはどうか。</p>	<p>なお、広島県総合グランドについては、当面は現施設を利用していくこととし、広島西飛行場跡地に整備する野球場については、広島県総合グランドの野球場とのすみ分けも考慮しながら、今後、県市が施設内容を検討します。</p>
<p>④ スポーツ・レクリエーションゾーンに導入する施設の目的や規模、活用方法が漠然としすぎている。近隣には県立総合グランドがあり、そこのすみ分けや連携の方針を明確に定めるべきではないか。</p>	

意見の概要	考え方	
⑤ 中央公園ファミリープールを西飛行場跡地へ移動させ、空いた土地に手狭と思えるグリーンアリーナの別棟を建てれば一石二鳥ではないか。	市内の様々な既存施設については、更新するか否かを含め、その在り方を別途検討する必要があると考えています。「スポーツ・レクリエーション」ゾーンの施設については、そうした検討に影響を受けず、県民・市民にとって必要かつ有効となる施設は何かという観点から整備することとしたものです。	
⑥ 誰もが親しめる広大な芝生公園を設置すべきと思う。特定のスポーツ施設を作った場合、そのスポーツが好きな人しか楽しめないが、芝生公園であれば、子育て世代をはじめとした幅広い利用が見込まれる。		
⑦ 既存老朽化施設の更新と集約化、有料興行の広島飛ばしへの対応、グリーンアリーナの供給不足への対応、サッカースタジアム問題の解決、出島地区のメッセ・コンベンション計画の変更、これらの問題と需要を満たすためにフットボールサイズの多目的ドームを提案する。		
⑧ 中国地方近県、県内、市内から多数のチームが参加でき、いろいろなことに使えるシンプルなスポーツ広場があれば良いと思う。グラウンドの広さは、小学生ソフトボール試合同時に8面、大人ソフトボール試合同時に4面、軟式野球試合同時に3面。充実した照明、トイレ、水場等の施設を設置。駐車場は太田川放水路側へ大型バス、マイクロバス駐車スペースを設けて国・県の許可を得て、放水路土手を出口専用道路として使うようにしてはどうか。	いただいた御意見については、今後の「スポーツ・レクリエーション」ゾーンに整備するスポーツ施設の検討に当たっての参考とさせていただきます。	
⑨ スポーツ・レクリエーションゾーンに整備する野球場について、広島東洋カープの2軍の拠点を由宇球場から今回整備する野球場に移すようカープに働きかけてほしい。	スポーツ・レクリエーションゾーンに整備する野球場については、多くの県民・市民が使える施設とするよう考えています。広島東洋カープからは、「二軍本拠地である由宇練習場を改修したばかりであり、移転することは考えていない」とお聞きしています。	
⑩ 現在、広島サンフレッチェの本拠地スタジアムの移転先が検討されているが、その候補地として整備することや、県外に本拠地が移転して久しい広島東洋カープの二軍本拠地として整備する案も検討しても良いのではないか。	また、広島西飛行場跡地は、サッカースタジアム検討協議会において、サッカースタジアム整備の候補地の一つではありましたが、軌道系交通機関がなく、退場時に著しい交通渋滞の発生が想定されることから、候補地から外れています。	
⑪ スポーツ・レクリエーションゾーンの整備と新たな産業（にぎわい）ゾーンは一体的な開発とした方がいいのではないか。	本計画の策定過程において、対話事業者から、「スポーツ・レクリエーション」ゾーンについて、多目的スポーツ広場等の整備は採算性の観点から民間事業として難しいという意見があり、公共による施設整備を行うことにしています。 「新たな産業（にぎわい）」のゾーンは、民間事業者により開発を行うことにしていますが、本計画では、「スポーツ・レクリエーション」、「新たな産業（にぎわい）」等の機能が相乗効果を発揮することを目指し、周辺の既存施設との連携も図りながら跡地全体の機能を高める複合的なまちづくりを掲げています。	

意見の概要	考え方
⑫ アミューズメントパーク、リゾートタウンなどを誘致してほしい。	<p>広島西飛行場跡地については、平成25年5月に策定した広島西飛行場跡地活用ビジョンにおいて、上位計画での位置付け等から期待される役割、跡地の持つ優れた地区特性等を踏まえて、「新たな産業（雇用、にぎわい）」、「スポーツ・レクリエーション」及び「広域防災」を主たる導入機能として活用することにしています。</p>
⑬ 老若男女問わず1年中遊べる後楽園遊園地や長島スパーランドのような周辺地域（西日本）一円から集客できる遊園地を誘致してほしい。	<p>こうしたことを踏まえ、本計画では、「新たな産業（雇用）」ゾーンについて、「都心に近く、広域的な交通アクセス性に優れている跡地の特性を生かして、民間事業者の開発により雇用を創出し、県・市の産業基盤の強化に寄与する施設を導入する」ことにしています。</p>
⑭ 観光機能に重点をおき、リゾートホテル、温泉施設、道の駅等の観光機能を持った施設を誘致し、また、宮島ルートとの連携を図ってほしい。	<p>「新たな産業（にぎわい）」ゾーンへは、「瀬戸内海を望む美しい景観を有する跡地の地区特性を生かして、民間事業者の開発により、広域から人を呼び込み、にぎわいと交流を創出する施設を導入する」ことにしています。</p>
⑮ マリーナ地区の建物を残しつつホテルを誘致してほしい。	<p>また、「スポーツ・レクリエーション」ゾーンについては、都心に近く、面積が広大で土地活用に自由度が高いという跡地の地区特性を生かし、多くの県民・市民が利用できる多目的スポーツ広場を整備するとともに、将来的に野球場を整備することにしています。</p>
⑯ ジンベイザメを観覧できる水族館をつくってほしい。	<p>いただいたご意見については、今後実施予定の事業予定者募集に当たっての参考にさせていただきます。</p>
⑰ カジノを誘致してほしい。	
⑱ 広島にはランドマーク的存在がないため、市内・瀬戸内海を見渡せる展望台タワーや神戸ハーバーランドのような港町が良いと思う。	
⑲ 多くの釣りファンや家族連れが動員できるように「釣り公園」にし、併設して関連アパレルや水産物販売関連施設などを整備すれば、水産関係のアピールができ、地域経済の発展に繋がるのではないか。人口比率の低い若者向けの商業施設やわずかなマリンスポーツのファンのための施設を作っても先がない。	
⑳ 広島には多数のスポーツチームがあることから、広島ピーススポーツタワーを建設してほしい。	
㉑ 広島高速のパーキングエリア、鉄道みたいな運送系の学校、農業又は水産の学校、子供の為の職場体験型テーマパークなど、広島にはない持続可能な施設がほしい。	
㉒ スポーツの場所は必要ないと考えている。広島市内には十分そういった施設がある。市内の一級土地に、経済に役立つもの、商業施設などを拡充してほしい。日本一とまでいかなくてもかなり大きい観覧車の整備をしようか。景観の関係で広島西飛行場跡地に作るのがベストだと考えている。経済に重視した観点でお願いしたい。	
㉓ 大きくて細長い土地なので、マツダやタイヤメーカーのテストコースを作ったらいいと思う。車の試乗会ができれば人が集まり、周辺も活性化できる。	

意見の概要	考え方
<p>②④ 広島県の中でも景色が大変綺麗な場所であるため、その景観を活かして横浜みなとみらい21や神戸のハーバーランドの様なお洒落で誰もが行きたい！と思う様な複合施設を期待する。広島にはランドマーク的な物も無いため、広島ポートタワーの建設、その側には温泉付きのリゾートホテル、海沿いには山下公園や赤レンガ倉庫の様なお洒落で誰もが利用できる施設をお願いしたい。</p>	
<p>②⑤ 広島市は紙屋町あたりの「市内」を中心に発展し、最近は広島駅の再開発が行われている。このような状況の中、駅や市内から一定の距離がある西飛行場跡地に、似たような施設をもってくると、経営資源が分散化され、全てが中途半端で終える可能性がある。したがって、西飛行場跡地の開発に当たっては、市内、駅前地区とは異なる施設を配置すべきであると思う。</p> <p>新たな産業（雇用）： 上記の観点から有明のパナソニックショールームやお台場のトヨタメガウェブのような企業のパビリオンのような施設を設置すれば良いと思う。跡地の形状を考慮すると、外周を試乗用コースとすれば良いと思う。</p> <p>新たな産業（にぎわい）： アウトレットモールなどの設置は避けるべきだと思う。キドキドのような子供が雨天でも遊べる施設を併設することで、親子連れが遊びに来やすい場所にするべきである。また、海や川を活かせる施設を積極的に導入し、「川」があるという特性を生かし、駅～跡地をつなぐ、クルージング船や水陸両用バスをぜひ導入してほしい。</p>	
<p>②⑥ 遊覧飛行を含め、水陸両用飛行機は反対である。</p>	<p>事業予定者の募集においては、騒音や振動への対策など、地域の生活環境の保全に配慮することを評価項目の一つとして、提案を求めることで対応するよう考えています。</p> <p>その上で、水陸両用機事業については、事業を実施する民間事業者が関係者や関係機関等と十分な協議を行う必要があると考えています。</p>

意見の概要	考え方
⑳ ジャンボ機などが乗入出来る飛行場にしてほしい。	広島西飛行場は、利用の低迷や膨大な管理運営費などの問題から、その機能を維持することが困難という考えの下、広島空港に機能を集約し、同空港の拠点性を高めることが、広島県及び広島市の発展にとって最も望ましいという理由から、県市の合意により飛行場を廃港し、ヘリポート化したものです。
㉑ 現在、広島県西部の中心的産業は、内燃機関を用いる自動車産業であるが、将来の自動車産業は大きく変化してくることが予想される。今のうちに、内燃機関を応用できる航空機産業を育てていく必要がある。幸いに、広島西飛行場跡地のそばには、航空機産業を担っている三菱航空機株式会社の親会社の工場があり、滑走路と工場が隣接するような、これだけの好条件を有する地域は、名古屋小牧以外にこの地域にしかいないため、三菱航空機株式会社を誘致し、この会社が製造する航空機の試験飛行のための離発着場に利用することを提案する。	現在、ヘリポート化により生じた広大な跡地について、その活用の検討を進めているところであり、県市が平成25年5月にとりまとめた「広島西飛行場跡地活用ビジョン」に示した機能の導入を目指し、引き続き、県市が連携して取り組んでいきたいと考えています。

イ 都市基盤整備に関すること（7件）

意見の概要	考え方
① 道路交通が脆弱であるのならば、西広島までの延伸構想が進んでいるアストラムラインを延伸する等、軌道系アクセスの整備についても選択肢として検討することは明記してもよいのではないか。	アストラムラインの延伸については、現在、広域公園前駅からJR西広島駅までの区間について、平成40年代初頭の開業に向けて取組を進めているところであり、御提案のような南側への延伸計画はないことから、跡地活用に当たり、軌道系アクセスの整備は考えていませんが、基幹道路や河川側道路等の整備、広島ヘリポート北交差点付近の付加車線の増設等により、交通アクセスの改善を図ることにしています。
② 太田川放水路沿いの道路を南側の先端までの伸ばすべき。	本計画では、上下水といったインフラの整備状況、コストの抑制等を考慮した上で、地区内の円滑な交通処理、緊急時における交通機能を確保するという観点から、既存道路を活用するとともに、南伸道路の整備等により地区内の道路ネットワークを形成することにしています。 また、現在、市において、平成29年度末を目途に、都市計画道路の未着手区間を対象に、必要性や実現可能性を検証し、廃止や計画変更、重点整備路線の選定などを内容とする整備方針の策定に取り組んでおり、駅前観音線についてもその中で検討を行うことにしています。
③ 道路ネットワーク図に都市計画道路「3・2・310号駅前観音線」を表示し、環状ネットワークをイメージさせた方がいいのでは。	
④ 三菱重工の都市計画道路（駅前観音線）を整備しないのであれば、都市計画変更を早急にすべきでないか。	
⑤ 現在の広島南道路下のボックス（太田川放水路側にあるボックス）の幅は狭いので、両方向の通行は無理だと思うが、新たに新しいボックスを設置するなどして、両方向の通行ができるようにできないか。	河川側道路と広島南道路が交差する広島南道路下のボックス部分については、新しいボックスの設置等に技術的な課題があること、多額の費用が必要となることから、現在と同様の北方面への一方通行とするよう考えています。

意見の概要	考え方
⑥ 基幹道路は南端海岸線まで直線道路とし、自転車やハイキングのコースとする。	本計画では、現在の上下水といったインフラの整備状況を踏まえつつ、コストの抑制等を考慮した上で、既存の県道南観音観音線の拡幅等により基幹道路を整備することになっています。この拡幅に併せ、基幹道路から南伸道路につながる形で自転車走行空間及び歩行者空間を整備することになっています。
⑦ 跡地活用を進める前に、道路整備を早期に行うべきである。	基幹道路及び南伸道路については、これまで周辺関係者との協議を進めてきており、一定の理解が得られる状況にあることから、平成29年度に設計に着手し、平成32年度末を目途に整備を進めていくよう考えています。

エ 今後のスケジュールに関すること（2件）

意見の概要	考え方
① 一日も早く完成してほしい。	本計画では、民間事業者が主体となって「新たな産業（雇用）ゾーン、
② この計画の完成時期が不明瞭である。この計画が完成し、跡地全体の利用が図られる予定の目標年次を明確に定めるべきではないか。	<p>「新たな産業（雇用）ゾーン、</p> <p>「新たな産業（にぎわい）」ゾーンの完成時期は、開発を行うことになる民間事業者の事業計画によって決まるため、現時点ではお示しすることはできませんが、平成29年度に事業予定者の募集、選定を行います。</p> <p>行政が主体となって整備する都市基盤（基幹道路等）及び「スポーツ・レクリエーション」ゾーン（多目的スポーツ広場）については、平成29年度に設計又は施設の内容検討に着手し、いずれも平成32年度末を目途に整備を進めていくよう考えています。</p> <p>なお、広域防災ゾーンの河川側道路については、民間開発地の道路整備と整合を図るため、その開発状況を踏まえて整備時期を検討します。また、野球場については、整備時期を含め、施設内容を県市で協議し検討します。</p>